

レパートリーの使い方

◎レパートリー Repertory

- ・ 症状からレメディを探す本。
 - ・ マテリアメディカの逆引き辞書といえます。
- SYNTHESIS・・・総合、統合、組み立て、等の意味。

ジェームズ・タイラー・ケント（約100年前の米国で活躍した医師ホメオパス）の編集したレパートリーがレパートリーの構造の土台となり、世代を超えて現代も使われています。`SYNTHESIS`は現代最も人気のあるレパートリーの一つです。`COMPLETE REPERTORY`と共に二大レパートリーと呼ばれています。

◎ルブリクス Rubrics

レパートリーの症状にあたる項目を Rubrics（ルブリクス）といいます。

辞書的意味

- 1（本・試験問題などの）注釈, 説明. 2（印刷物などの）朱書き, 赤刷り.
- 3（原稿・書物・法令などの昔は朱刷りされた）標題, 項目, 見出し.

◎レパートリーの構成

SYNTHESIS をみてみましょう。

どのような SECTION（分類、項目）からできているでしょうか。

単純なアルファベット順でなく、ホメオパシーの分析に使いやすいように工夫された構成になっています。

	Section	
精神／感情	Mind	心の状態を表す全て(精神、感情、情緒、振る舞い、記憶等)。 このセクションはホメオパシーでは量も多い。
頭部／ 頸部	Vertigo	目眩
	Head	頭部。頭皮、髪も含む 眉毛の上から後頭部まで 頭痛に関して記述が多い。多くの sensation(感覚・知覚)や feeling(感覚・知覚・心持ち・思い)が出てくる。
	Eye	眼球と目蓋。眉毛は Face にある。
	Vision	視覚
	Ear	耳全般。外耳・中耳・内耳・耳周辺を含む。雑音はここ
	Hearing	聴覚。ここでは聴覚障害についての症状が多い
	Nose	鼻全般(嗅覚も含む)。 一部の副鼻腔も
	Face	頭部全面である顔に関して。 顔色、顔の状態、顎の状態、顔面痛等
	Mouth	口。歯茎、舌、口蓋等

	Teeth	歯
	Throat	咽頭。喉の構造　口蓋垂、扁桃腺、咽頭、食道上部
	External Throat	喉の外側前面（頸部後面は Back に）
腹部	Stomach	胃。食欲、喉の渇きはここに。ゲップ、しゃっくり、胃痛等
	Abdomen	腹部全面。小腸含む　一部胎児、妊娠の記述あり
	Rectum	結腸、直腸、肛門、下痢、便秘、痔
	Stool	便
泌尿生殖器	Bladder	膀胱
	Kidneys	腎臓
	Prostate	前立腺
	Urethra	尿道
	Urine	尿
	Male genitalia	男性生殖器と SEX
	Female genitalia	女性生殖器と SEX 。妊娠、月経、月経痛、おりもの、更年期
	Male and female	男性&女性生殖器と SEX
胸部	Larynx	呼吸器系の入り口／喉頭・気管・声
	Respiration	呼吸に関すること。喘息
	Cough	咳
	Expectoration	痰
	Chest	胸部。　心臓　肺　乳腺　肋骨　脇の下
背中 ／四肢	Back	尾骨から頸部まで。肩、肩甲骨
	Extremities	手足とその関節。指やお尻はここに
睡眠	Sleep	眠り
	Dreams	夢
寒さ／熱	Chill	寒気(悪寒)
	Fever	身体の熱について。急性の感染症も含む
発汗	Perspiration	身体の全般的発汗。局所の発汗もみること
皮膚	Skin	全般的皮膚について。局所の皮膚もみること
身体全般	Generals	全身、全体。体質、全般的な状態やモダリティー 最も重要とも言える ＊「 <u>私は</u> ○○だ(例：暑がり)」という表現

◎レメディのグレード(等級)

順位		Point		プルービングの際・臨床で
1	ACON	4点	全て太文字・太文字	この症状を訴えた人が多かった。 治癒した人が多かった。
2	Acon	3点	最初の文字のみ 大文字・太文字	この症状を訴えた人、治癒した人が二番目に多かった。
3	<i>Acon</i>	2点	イタリック体	この症状を訴えた人、治癒した人が三番目に多かった。
4	acon	1点	全て小文字	この症状を訴えた人、治癒した人が一番少なかった。

◎ルブリクスの語順

I had the headache which extend to the eyes from the forehead and it was tearing.

額にあった痛みが目の方に広がった。それは引き裂くような痛みだった。

Head Pain – Forehead・extending to : Eyes : tearing; arg-n.,*kali-c.*,mur-ac., nat-c.,nat-m.,samb.,spig.
(P325)

Head					
Head	Pain				
Head	Pain	Forehead			
Head	Pain	Forehead	extending to		
Head	Pain	Forehead	extending to	Eyes	
Head	Pain	Forehead	extending to	Eyes	tearing

Head	Pain	Forehead	extending to	Eyes	tearing	arg-n., <i>kali-c.</i> ,mur-ac., nat-c.,nat- m.,samb.,spig.
頭部	痛み	額	～に広がる	目	引き裂く ような	レメディ名
SECTION	SYMPTOMS	location	extension	location	sensation	Remedy
部位	症状	部位	広がり	部位	感覚	レメディ候補

◎サブ rubrique Sub-rubrics

おおむね以下のように並んでいる。さらに詳しい情報があれば、Time→Accompanied by→と続く
Head pain など参照にしてみると・・・

- ・ Time 時間
- ・ Accompanied by 付随して
- ・ Alternating 交互に
- ・ Modality モダリティー
- ・ Extending to ～にひろがって
- ・ Location 部位
- ・ Side/Laterality 側性（左右）
- ・ agg. = Aggravation 悪化＜
- ・ amel. = Amelioration 好転＞
- ・ Aversion 嫌う Desire 欲求
- ・ Sensation 主観的感觉
- ・ Ailments from ～から発症（Mind セクションにある）

◎最後に

レパートリーはレメディを探すための便利な道具として考えておくことが重要で、決して完璧なものではありません。レパートリーに記載されていない症状や効果もあります(マテリアメディカに大きく載っているのにレパートリーに反映していない情報もあります)。十分なプルービングや臨床が行われておらず、記載されていないレメディも多くあります。

またレパートリーには古典的な言い回しや言葉で記載されていることも多く、また意外なセクションに分類されていることもよくあり、症状そのものにたどり着けない場合もありますが、とにかく慣れることが大切です。